

2021. 4. 9

一般社団法人静岡県信用金庫協会

第58回県内信用金庫連携による合同景況調査結果

一般社団法人静岡県信用金庫協会（会長 田形 和幸）は、平成17年(2005年)10月以降、県内信用金庫連携による合同景況調査を実施しています。

各信用金庫が協力して取引先企業1,221社にアンケート調査を実施し、1,217社から得た回答（有効回答率99.7%）をもとに、県内経済を支える地元企業を広く網羅して分析したものです。

静岡県信用金庫協会では、地域に密着した信用金庫ならではの情報提供を通じて地域に貢献し、信用金庫の存在意義を高めていきたいと考えております。

「県内中小企業等の景況感DIは東部は悪化、全体としてはやや改善」

【概 況】

2021年1～3月の県内中小企業等の業況DI（企業の景況感を示す、「良い」とする企業割合から「悪い」とする企業割合を引いた数値）は、前回調査時（2020年10月～12月「以下同じ」）の▲36.4から▲32.1へと4.3ポイントのやや改善となった。

業種別にみると、サービス業（前回調査▲27.7→今回調査▲56.1）が大幅に悪化したものの、製造業（▲42.8→▲27.7）、卸売業、不動産業がマイナス幅を縮小し、改善した。

これを地区別の業況DIでみると、東部地区は悪化し、中部地区、西部地区は改善している（地区別の詳細は次頁のとおり）。各地区とも、依然として悪化水準は高く、コロナ禍の影響が続くことを懸念している。

県内合計及び地区別DIの推移（全産業）

	2019年				2020年				2021年	
	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6 (見通し)
東部地区	▲17.5	▲16.9	▲16.3	▲24.0	▲30.6	▲67.0	▲50.9	▲26.2	▲40.2	▲39.2
中部地区	3.8	▲3.4	▲7.6	▲7.4	▲21.1	▲53.7	▲59.6	▲39.7	▲26.6	▲21.4
西部地区	▲0.8	▲8.5	▲10.9	▲20.9	▲26.9	▲71.0	▲63.6	▲41.3	▲29.1	▲31.7
県内計	▲4.4	▲9.7	▲11.6	▲18.7	▲26.7	▲67.0	▲59.1	▲36.4	▲32.1	▲32.4

2021年4～6月の業況見通しは、東部、中部、西部ともにコロナ禍の長期化による先行き不透明感から、ほぼ横ばいの予想となっている。

■東部地区

東部では、不動産業が 11.8 ポイント (▲11.8⇒0.0)、卸売業が 10.8 ポイント (▲34.3⇒▲23.5) とそれぞれ改善したものの、サービス業が▲84.3 ポイント (0.0⇒▲84.3) と大幅に悪化したほか、小売業が▲15.7 ポイント (▲30.1⇒▲45.8)、製造業が▲2.7 ポイント (▲45.4⇒▲48.1)、建設業が▲0.2 ポイント (▲11.9⇒▲12.1) と悪化したことから、全産業ベースの業況 DI は前回調査時の▲26.2 から▲40.2 と悪化となった。

製造業

業況は、コロナ禍の影響が続き、売上、受注の減少から、やや悪化している。

今後の見通し (2021 年 4～6 月期・以下同じ) としては、コロナ禍の影響で回復には時間を要することから、業況はほぼ横ばいを見込んでいる。

(事業者の声)

- ・資金繰りについては、緊急融資にて対応済みであり当面問題はない。既存の設備で土産以外の食品を製造する等、売上の増加策を検討中。(菓子製造販売)
- ・親会社の輸出入に携わる国でのコロナ禍の終息が必須。(機械部品加工業)
- ・コロナ禍の影響による既存事業の業況悪化に伴い、主力商品の売上は減少しているが、テイクアウト向け製品の売上は好調に推移している。(紙加工品製造業)
- ・GoTo キャンペーンなどにより一時は売上が前年同月より増加したものの、首都圏等の緊急事態宣言の影響を受け、減少に歯止めがきかない。(酒類製造・販売業)

卸売業

業況は、売上が回復傾向にあることなどから、マイナス水準ではあるものの、改善している。

今後の見通しとしては、コロナ禍が長期化するとの予測などから、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・ブライダル業界からの生花の注文は依然として回復していない状況。オンライン会議や在宅勤務の普及により、観葉植物の注文は例年に比べ増加している。(生花)
- ・スーパー関連の受注は増加傾向にあったが 11 月以降落ち着いてきている。(真アジ各種干物)
- ・コロナ禍の影響を受けつつも、業況は回復傾向にある。配送業務も増加しており、人手不足となっていることから、人材確保に注力していきたい。(農畜産物・水産物卸売業)
- ・昨年の秋に福祉事業向けの助成金があったことから、介護用品の需要が高まり、売上が増加した。しかしながら、今後その反動で受注が少なくなると見込まれることから、人件費の見直しや経費削減が課題となっている。(福祉機器)

小売業

業況は、コロナ禍の影響でイベントの中止などによる売上の減少から、悪化している。

今後の見通しとしては、正常化するには時間を要するとの見方から、業況はほぼ横ばいを見込んでいる。

(事業者の声)

- ・GoTo トラベル停止や首都圏等の緊急事態宣言を受け売上減少。雇用調整助成金を利用し、従業員を全体の 6 割にて稼働中。観光に直結している業種であり先行きは不明瞭。(土産物・飲食サービス)
- ・コロナ禍によりイベントやウェディングの機会減少で新たなビジネスモデルや新商品、サービスの展開が課題。(花・植木小売業)
- ・外出自粛の長期化によるガソリン需要減少に伴い売上が減少している。(ガソリン・軽油・灯油小売業)
- ・コロナ禍の影響により、取引先の飲食店の受注が減少。売上が前年と比べ、10%～30%減少したままである。令和 3 年に入り取引先の中に閉店予定の店もあり、今後売上がより減少していくことに不安がある。(酒類・食料品)

サービス業

業況は、GoTo トラベル中止や首都圏等の緊急事態宣言などコロナ禍による大きな打撃から、マイナス水準に転じており、大幅に悪化している。

今後の見通しとしては、新型コロナワクチン接種などによる経済活性化への期待などから、業況は改善するもの

の、引き続き高いマイナス水準を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・GoTo 停止に伴い宿泊客のキャンセルが大幅に増加、厳しい状況となっている。古くからの顧客や工事関係者の宿泊等、少しずつ動きは出ているが、以前の3割程度までしか回復していない状況。(民宿)
- ・個室希望者が多く、個室の増加を検討中。(宿泊・宴会)
- ・感染対策による密集防止の観点により葬儀の規模縮小及び費用の抑制傾向にある。(葬祭業)
- ・飲食業は、コロナ禍の影響により売上が大きく減少している。打開策としてテイクアウトを始めており、チラシを配り始めたことにより、少しずつ客が増加している。今後も継続して、テイクアウトに力を入れていく必要がある。(調理・接客業)

建設業

業況は、売上や受注が減少傾向にあるものの一般住宅が増加傾向にあることなどから、横ばいとなっている。

今後の見通しとしては、公共事業や新規取扱の減少などから、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・コロナ禍の影響は現状少ないが、今後は企業の設備投資の需要も減っていく見通しであり、影響が出てくると予想している。(総合建設業)
- ・受注が減少し単価も減少する中で価格に転嫁できるかが問題。(建設業)
- ・ニューノーマル社会への変革に伴うIT化等の対応への懸念がある。(給排水設備工事業)
- ・コロナ禍の第2波、第3波の影響から売上が減少しているものの、春にかけて回復傾向となる見通し。慢性的に業界全体で人手不足であり、当社も例外ではない。IT分野への移行も視野に入れ、経費を削減し利益の確保を目指す。(電気工事業)

不動産業

業況は、コロナ禍のマイナスの影響が少なく、売上の増加から改善している。

今後の見通しとしては、コロナ禍の影響で移住者の増加を見込んでいることなどから、業況は改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・コロナ禍により地方移住者が増え、不動産に対する需要が高まっている中で、物件の減少が問題点として挙げられる。(不動産仲介業)
- ・コロナ禍で高齢の地主を訪問する機会が減少。物件情報の収集が課題。(不動産仲介・売買)
- ・コロナ禍の影響により収入が減少した入居者からの賃料減額交渉が懸念される。(不動産賃貸業)
- ・不動産の需要についてはコロナ禍においても比較的堅調に推移している。倒産・廃業が増えることで不動産売却を検討する方も増加すると予想している。(不動産仲介・売買)

■中部地区

中部では、小売業が▲20.6ポイント(▲14.7⇒▲35.3)、建設業が▲10.7ポイント(▲17.9⇒▲28.6)と悪化したものの、製造業が46.2ポイント(▲48.1⇒▲1.9)と大幅に改善し、サービス業が28.0ポイント(▲60.0⇒▲32.0)、不動産業が6.6ポイント(▲30.4⇒▲23.8)、卸売業が6.6ポイント(▲63.3⇒▲56.7)とマイナス幅が縮小したことから、全産業ベースの業況DIは、前回調査時の▲39.7から▲26.6へと改善となった。

製造業

業況は、在庫の適正化などから、改善となっている。

今後の見通しとしては、売上の増加などから、業況は改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・巣ごもり需要により、家電販売が順調に推移している。(家電製造)
- ・前年比減収となるも、海外からの大型受注があり増収が見込める。(水産食品加工機械)

- ・売上減少が続いたが、徐々に回復しつつある。(自動車部品輸送用機械器具製造)
- ・コロナ禍の影響もあり、住宅建設が前年対比10%減。令和3年4月以降も同様に推移する見通し。(建築材)
- ・コロナ禍の影響により、人材不足、人件費が課題。(制御盤)
- ・売上が減少傾向につき、仕入を減らし在庫管理や収益面で改善した。(緑茶)
- ・受注が減少しているため、社内の生産体制を見直し業務効率化を向上させる。また販路開拓を実施する。(工業機械部品製造)

卸売業

業況は、やや改善したものの、コロナ禍の影響により、依然高いマイナス水準となっている。

今後の見通しとしては、売上、収益の停滞により、業況は引き続き、高いマイナス水準を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・コロナ禍により売上が減少する中、仕入価格の抑制等により一定の利益確保はされている。(鮮魚)
- ・売上減少は、他業種と比較すると少ないが、今後の利益確保が当面の課題である。(一般鋼材)
- ・大手メーカーの動きに連動する部分があるため、自社のみで売上のコントロールは難しい。(ネジ・工具)
- ・自動車業界の落ち込みにより、廃プラスチックの回収が減り、再生資源の原料確保に向け、情報収集している。(再生資源)
- ・学校配達がなくなる限り、コロナの影響はあまり受けない。(牛乳・乳製品)

小売業

業況は、消費の落ち込みによる収益の減少などから、業況は悪化している。

今後の見通しとしては、売上の回復が見通せず、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・コロナ禍により、店舗販売・メイクアップ指導が困難となっている。ECサイトの充実、リモート等店舗改装は必要な状況かもしれない。(化粧品)
- ・式典の縮小により注文が減少。(生花)
- ・飲食店からの注文が減少、一般顧客の販売は横這い。(米穀・食料品)
- ・衣料品全体では売り上げ減少となっているが、下着類の売り上げは増加している。お客様のニーズに合った商品提供が必要。(衣料品)
- ・宅飲みが増えて売上が増加した一方、居酒屋等のお店からの受注は減少、不採算店舗の閉店もして結果的には昨年と変わらない売上となった。(酒類・調味食品)
- ・ステイホームの影響により売上は増加。(食料品)
- ・売上の4割を占める展示会中止の影響が大きい。新サービス、新事業を検討。(呉服)
- ・マスクの需要は落ち着いてきている。(布・洋裁小物)
- ・多少の売上減少はあったが、現在はコロナ禍の影響は少ない。(菓子販売)

サービス業

業況は、改善したものの、人の動きが回復せず、依然高いマイナス水準となっている

今後の見通しとしては、売上、収益の停滞などから、業況はやや悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・顧客業況の把握に注力し、サービス向上に努めている。IT利用の効率化等進め、新業態へ対応したい。(会計及び財務コンサルタント)
- ・一時期は自粛の動きが目立っていたが、感染予防対策をすることで徐々に利用者が戻ってきた。(デイサービス)
- ・新型コロナウイルス感染対策や、密にならない予約管理の手間も増加している。(接骨院)
- ・大幅な客数減少、一度離れた客を戻すことが今後の最優先課題である。(理容)

建設業

業況は、売上、収益の減少から、悪化となっている。

今後の見通しとしては、材料価格の上昇などによる収益の減少から、業況は更に悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・コロナ禍の影響により工事日程の遅延や受注の減少により売り上げ減少。(建築・土木)
- ・大型の受注は減少傾向にある。(建築・土木)
- ・建設工事は減少傾向、公共工事も来期以降見通しは厳しい状況。(建築・土木)
- ・受注は減少している。小口リフォーム等に力を入れているが減収減益の推移が続いている。(木造建築)
- ・道路工事等公共工事の工期が長く、売上減少は軽微。但し県外の担当者との打ち合わせや材料納入の遅延により、工事も遅延となる。(土木工事)

不動産業

業況は、売上、収益の大きな変化はないものの、やや改善している。

今後の見通しとしては、在庫不足などによる、収益の減少から、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・社宅を出て、アパートを借りる人が多くなってきている。特に外国人が多い。(賃貸物件仲介業)
- ・新型コロナウイルス感染拡大の当初は、家賃の引下げ交渉もあったが、現在は大きな影響はない。(不動産仲介業)
- ・賃貸アパート入居者のうち非正規雇用者の家賃滞納が増加。(賃貸物件仲介業)
- ・テナント等の動きが鈍化、空き室増加。他社との競合も激化している。(不動産仲介業)
- ・今後、雇用の悪化による賃金減に伴う退去が増加すると懸念。(不動産仲介業)

■西部地区

西部では、建設業が▲3.8ポイント(▲18.9⇒▲22.7)とやや悪化したものの、小売業が20.6ポイント(▲47.1⇒▲26.5)、卸売業が16.8ポイント(▲64.9⇒▲48.1)、製造業が15.8ポイント(▲41.0⇒▲25.2)、サービス業は3.6ポイント(▲41.9⇒▲38.3)、不動産業が0.6ポイント(▲31.4⇒▲30.8)とそれぞれ改善したことから、全産業ベースの業況DIは前回調査時の▲41.3から▲29.1と改善となった。

製造業

業況は、収益などの増加から、改善となった。

今後の見通しとしては、売上の減少などから、業況はほぼ横ばいを見込んでいる。

(事業者の声)

- ・業況は回復傾向にあり、4月以降の受注は大幅な増加の見通しとなっている。(二輪車)
- ・コロナの影響が収縮し、売上は増加傾向にある。(自動車用フィルター)
- ・自動車向けは回復しているが、工作機械向けの売上は減少している。(機械)

卸売業

業況は、収益の増加などから、改善したものの、依然として高いマイナス水準となっている。

今後の見通しとしては、販売価格の下降などから、業況はほぼ横ばいを見込んでいる。

(事業者の声)

- ・コロナ禍で、マスクの需要が高水準で推移しており、売上は増加傾向にある。(衛生材料)
- ・取引先の飲食店からの受注が減少し、大幅に売上が減少している。(鮮魚)
- ・コロナ禍の影響はほとんどなく、売上や収益は昨年と同様である。(珍味・豆菓子)

小売業

業況は、販売価格の上昇などから、改善となった。

今後の見通しとしては、販売価格の下降などから、業況はほぼ横ばいを見込んでいる。

(事業者の声)

- ・コロナ禍において巣ごもり需要の増加により、売上、利益とも増加した。(生鮮食品)
- ・来店客数が大きく減少することなく、空気清浄機の売れ行きも好調である。(家電)
- ・コロナ禍の影響はまだ続いており、売上は減少している。(燃料販売)

- ・コロナ禍の影響で売上が例年に比べ10～30%減少している。

(呉服)

サービス業

業況は、首都圏等での緊急事態宣言の影響等により宿泊業での予約キャンセルもみられたが、全体としては、やや改善となった。ただ高いマイナス水準が続いている。

今後の見通しとしては、売上などの増加から、業況はやや改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・コロナ禍でも郊外店舗、テイクアウト、惣菜部門の売上は好調である。(飲食)
- ・Go To トラベルの一時停止、緊急事態宣言の影響で、予約キャンセルが多かった。(宿泊)
- ・新規事業であるペット葬祭事業が、今後、売上拡大の核となる見通し。(葬祭業)

建設業

業況は、売上の減少から、やや悪化している。

今後の見通しとしては、受注の減少などにより、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・コロナ禍で受注工事の進捗が遅延している案件が出ている。(一般住宅建築)
- ・コロナ禍の影響はないが、新年度の公共工事に影響が出ないか心配している。(土木建設)
- ・民間工事、公共工事を行っているが、受注状況は堅調である。(総合建設)

不動産業

業況は、売上などの増加から、やや改善となっている。

今後の見通しとしては、在庫の増加などから、業況はやや改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・保有不動産の入居率は高水準を維持しており、コロナ禍の影響は特にない。(不動産賃貸)
- ・商品土地について、順調に売却が進んでいる。(不動産売買)
- ・大口仲介の先送り等もあり、依然として厳しい業況を強いられている。(不動産仲介)

[お問い合わせ先]

(一社)静岡県信用金庫協会

電話：054-255-5530

資料 1

1. 業況(全業種)

	今回調査(2021年1～3月期)						前回調査(2020年10～12月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
東部地区	3.5%	12.5%	27.7%	33.4%	22.8%	▲ 40.2	5.4%	16.8%	29.5%	34.6%	13.8%	▲ 26.2
中部地区	5.2%	15.1%	32.8%	33.3%	13.5%	▲ 26.6	1.5%	11.9%	33.5%	37.6%	15.5%	▲ 39.7
西部地区	3.2%	13.2%	38.0%	33.7%	11.8%	▲ 29.1	1.4%	10.7%	34.5%	38.7%	14.6%	▲ 41.3
県内合計	3.6%	13.3%	34.1%	33.6%	15.4%	▲ 32.1	2.7%	12.8%	32.8%	37.3%	14.5%	▲ 36.4

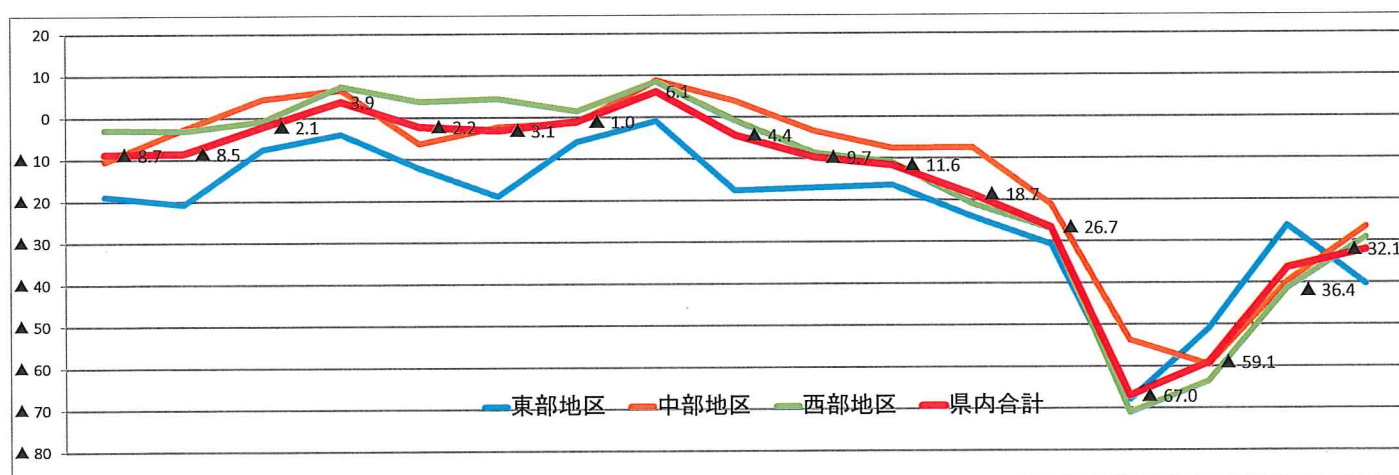
2. 業況予想(全業種)

	2021年4月～6月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
東部地区	2.2%	10.4%	35.7%	37.6%	14.2%	▲ 39.2
中部地区	3.1%	20.3%	31.8%	34.9%	9.9%	▲ 21.4
西部地区	0.9%	11.3%	43.7%	35.7%	8.3%	▲ 31.7
県内合計	1.7%	12.5%	39.4%	36.2%	10.3%	▲ 32.4

3. 業況(DI)の推移(全業種)

	2017年 1～3月期	2017年 4～6月期	2017年 7～9月期	2017年 10～12月期	2018年 1～3月期	2018年 4～6月期	2018年 7～9月期	2018年 10～12月期	2019年 1～3月期	2019年 4～6月期	2019年 7～9月期	2019年 10～12月期	2020年 1～3月期	2020年 4～6月期	2020年 7～9月期	2020年 10～12月期	2021年 1～3月期
東部地区	▲ 18.8	▲ 20.7	▲ 7.5	▲ 3.9	▲ 12.0	▲ 18.8	▲ 5.8	▲ 0.8	▲ 17.5	▲ 16.9	▲ 16.3	▲ 24.0	▲ 30.6	▲ 67.0	▲ 50.9	▲ 26.2	▲ 40.2
中部地区	▲ 10.4	▲ 2.7	4.4	6.7	▲ 6.3	▲ 2.3	▲ 1.3	8.9	3.8	▲ 3.4	▲ 7.6	▲ 7.4	▲ 21.1	▲ 53.7	▲ 59.6	▲ 39.7	▲ 26.6
西部地区	▲ 2.9	▲ 3.0	▲ 0.8	7.5	3.9	4.5	1.5	8.6	▲ 0.8	▲ 8.5	▲ 10.9	▲ 20.9	▲ 26.9	▲ 71.0	▲ 63.6	▲ 41.3	▲ 29.1
県内合計	▲ 8.7	▲ 8.5	▲ 2.1	3.9	▲ 2.2	▲ 3.1	▲ 1.0	6.1	▲ 4.4	▲ 9.7	▲ 11.6	▲ 18.7	▲ 26.7	▲ 67.0	▲ 59.1	▲ 36.4	▲ 32.1

県内合計及び地区別DIの推移(全産業)



資料 2

・業種別業況

1. 東部地区

	今回調査(2021年1～3月期)						前回調査(2020年10～12月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	3.7%	13.0%	18.5%	43.5%	21.3%	▲ 48.1	1.9%	13.0%	25.0%	38.9%	21.3%	▲ 45.4
卸売業	0.0%	23.5%	29.4%	32.4%	14.7%	▲ 23.5	0.0%	17.1%	31.4%	37.1%	14.3%	▲ 34.3
小売業	4.8%	10.8%	22.9%	28.9%	32.5%	▲ 45.8	7.2%	15.7%	24.1%	39.8%	13.3%	▲ 30.1
サービス業	0.0%	0.0%	15.7%	33.3%	51.0%	▲ 84.3	17.6%	19.6%	25.5%	25.5%	11.8%	0.0
建設業	5.2%	13.8%	50.0%	29.3%	1.7%	▲ 12.1	1.7%	18.6%	47.5%	28.8%	3.4%	▲ 11.9
不動産業	5.9%	20.6%	47.1%	20.6%	5.9%	0.0	5.9%	23.5%	29.4%	29.4%	11.8%	▲ 11.8
全業種	3.5%	12.5%	27.7%	33.4%	22.8%	▲ 40.2	5.4%	16.8%	29.5%	34.6%	13.8%	▲ 26.2

2. 中部地区

	今回調査(2021年1～3月期)						前回調査(2020年10～12月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	11.1%	24.1%	27.8%	25.9%	11.1%	▲ 1.9	1.9%	13.0%	22.2%	40.7%	22.2%	▲ 48.1
卸売業	0.0%	6.7%	30.0%	50.0%	13.3%	▲ 56.7	0.0%	6.7%	23.3%	50.0%	20.0%	▲ 63.3
小売業	2.9%	14.7%	29.4%	38.2%	14.7%	▲ 35.3	2.9%	23.5%	32.4%	26.5%	14.7%	▲ 14.7
サービス業	12.0%	16.0%	12.0%	32.0%	28.0%	▲ 32.0	0.0%	0.0%	40.0%	40.0%	20.0%	▲ 60.0
建設業	0.0%	10.7%	50.0%	32.1%	7.1%	▲ 28.6	0.0%	14.3%	53.6%	32.1%	0.0%	▲ 17.9
不動産業	0.0%	9.5%	57.1%	23.8%	9.5%	▲ 23.8	4.3%	8.7%	43.5%	34.8%	8.7%	▲ 30.4
全業種	5.2%	15.1%	32.8%	33.3%	13.5%	▲ 26.6	1.5%	11.9%	33.5%	37.6%	15.5%	▲ 39.7

3. 西部地区

	今回調査(2021年1～3月期)						前回調査(2020年10～12月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	4.8%	15.6%	33.9%	33.9%	11.7%	▲ 25.2	1.2%	13.7%	29.2%	37.9%	18.0%	▲ 41.0
卸売業	0.0%	15.6%	20.8%	44.2%	19.5%	▲ 48.1	1.3%	5.2%	22.1%	50.6%	20.8%	▲ 64.9
小売業	1.5%	17.6%	35.3%	29.4%	16.2%	▲ 26.5	1.5%	8.8%	32.4%	42.6%	14.7%	▲ 47.1
サービス業	0.0%	6.4%	48.9%	34.0%	10.6%	▲ 38.3	4.7%	7.0%	34.9%	41.9%	11.6%	▲ 41.9
建設業	4.0%	5.3%	58.7%	26.7%	5.3%	▲ 22.7	0.0%	14.9%	51.4%	32.4%	1.4%	▲ 18.9
不動産業	1.9%	5.8%	53.8%	32.7%	5.8%	▲ 30.8	2.0%	0.0%	64.7%	27.5%	5.9%	▲ 31.4
全業種	3.2%	13.2%	38.0%	33.7%	11.8%	▲ 29.1	1.4%	10.7%	34.5%	38.7%	14.6%	▲ 41.3

4. 県内合計

	今回調査(2021年1～3月期)						前回調査(2020年10～12月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI		やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	5.3%	16.0%	29.9%	35.2%	13.7%	▲ 27.7	1.4%	13.4%	27.5%	38.4%	19.2%	▲ 42.8
卸売業	0.0%	15.6%	24.8%	42.6%	17.0%	▲ 44.0	0.7%	8.5%	24.6%	47.2%	19.0%	▲ 57.0
小売業	3.2%	14.1%	28.6%	30.8%	23.2%	▲ 36.8	4.3%	14.6%	28.6%	38.4%	14.1%	▲ 33.5
サービス業	2.4%	5.7%	27.6%	33.3%	30.9%	▲ 56.1	9.2%	10.9%	31.9%	34.5%	13.4%	▲ 27.7
建設業	3.7%	9.3%	54.0%	28.6%	4.3%	▲ 19.9	0.6%	16.1%	50.3%	31.1%	1.9%	▲ 16.1
不動産業	2.8%	11.2%	52.3%	27.1%	6.5%	▲ 19.6	3.7%	9.3%	49.1%	29.6%	8.3%	▲ 25.0
全業種	3.6%	13.3%	34.1%	33.6%	15.4%	▲ 32.1	2.7%	12.8%	32.8%	37.3%	14.5%	▲ 36.4

資料 3
・業種別予想
1. 東部地区

	2021年4月～6月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	1.9%	13.9%	24.1%	44.4%	15.7%	▲ 44.4
卸売業	0.0%	14.7%	32.4%	38.2%	14.7%	▲ 38.2
小売業	4.9%	4.9%	31.7%	36.6%	22.0%	▲ 48.8
サービス業	0.0%	0.0%	35.3%	51.0%	13.7%	▲ 64.7
建設業	1.7%	12.1%	50.0%	31.0%	5.2%	▲ 22.4
不動産業	2.9%	20.6%	61.8%	8.8%	5.9%	8.8
全業種	2.2%	10.4%	35.7%	37.6%	14.2%	▲ 39.2

2. 中部地区

	2021年4月～6月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	5.6%	48.1%	20.4%	18.5%	7.4%	27.8
卸売業	0.0%	6.7%	40.0%	46.7%	6.7%	▲ 46.7
小売業	2.9%	14.7%	26.5%	41.2%	14.7%	▲ 38.2
サービス業	8.0%	8.0%	32.0%	32.0%	20.0%	▲ 36.0
建設業	0.0%	3.6%	42.9%	46.4%	7.1%	▲ 50.0
不動産業	0.0%	14.3%	42.9%	38.1%	4.8%	▲ 28.6
全業種	3.1%	20.3%	31.8%	34.9%	9.9%	▲ 21.4

3. 西部地区

	2021年4月～6月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	1.5%	14.1%	42.0%	33.9%	8.4%	▲ 26.7
卸売業	0.0%	10.4%	29.9%	50.6%	9.1%	▲ 49.4
小売業	1.5%	14.7%	39.7%	35.3%	8.8%	▲ 27.9
サービス業	0.0%	8.5%	51.1%	31.9%	8.5%	▲ 31.9
建設業	0.0%	4.0%	50.7%	37.3%	8.0%	▲ 41.3
不動産業	0.0%	3.8%	63.5%	26.9%	5.8%	▲ 28.8
全業種	0.9%	11.3%	43.7%	35.7%	8.3%	▲ 31.7

4. 県内合計

	2021年4月～6月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	2.0%	17.8%	35.8%	34.5%	9.9%	▲ 24.6
卸売業	0.0%	10.6%	32.6%	46.8%	9.9%	▲ 46.1
小売業	3.3%	10.3%	33.7%	37.0%	15.8%	▲ 39.1
サービス業	1.6%	4.9%	40.7%	39.8%	13.0%	▲ 46.3
建設業	0.6%	6.8%	49.1%	36.6%	6.8%	▲ 36.0
不動産業	0.9%	11.2%	58.9%	23.4%	5.6%	▲ 16.8
全業種	1.7%	12.5%	39.4%	36.2%	10.3%	▲ 32.4